



新しい給食センターになって

9月から新しい給食センターの給食が始まっています。センターで作られた給食は、保温容器（食缶といいます）に入れられ学校に届きます。その保温容器や食器（皿、はし等）が変わり、配膳の仕方が変わりました。ようやく新しい食器や配膳の仕方にも慣れてきたところです。

さて、7月にプールとのお別れ会をしました。その時に、給食センターも新しくなることが話題になった学級がありました。これまで長い間、給食を作ってくれた旧給食センター。その給食センターが一区切りをつけることを知り、「給食センターに『ありがとう』を言いたい」と話す子がいて、心が温まりました。



児童会選挙 自分たちの学校生活を自分たちでつくる

学校のリーダーとして活躍する人を選ぶ、大切な選挙です。

立候補した児童は、「どんな学校にしたいのか」「そのためにどのような活動をしたらよいのか」真剣に考え、立会演説会や朝の選挙運動などで、自分の考えを堂々と伝えていました。児童会選挙を通して、全校児童が、自分たちの学校生活をよりよくするための方法を考えるよい機会となりました。

立会演説会で投票用紙が配られる場面のできごとです。投票用紙はとても大切な物なので、各学級の選挙管理委員が一人一人に手渡しをしています。そのとき、多くの子が受け取るときに頭を下げて受け取っていました。「ありがとう」の気持ちを行動で表している姿が、とても自然ですてきでした。



「成岩学林」今年も制作中

大正4年に第1号を刊行した「成岩学林」。現在106号を制作中です。先日は2年生が書いた原稿を見ました。1学期の生活科「まちたんけん」で発見したことが書かれていました。見てきたこと、聞いてきたことがいきいきと書かれています。どの子もそれぞれの視点でまちの様子を観察していて、「子どもたちが目をつけるところはおもしろい」と思いました。他の学年もこれから執筆・校正作業を行います。発行が楽しみです。

安全に関する重要なお知らせ

6月の下校時、黄門を出た坂道で、本校児童が転倒し、腕を骨折するという重大事故が起きました。今後、同様の事故が起きないように、各学級および全校児童が集まる場で、「黄門の坂で大けがを事故が起きたこと」「下り坂での転倒は、大けがにつながり危険であること」「下校途中で走らないこと」を呼びかけました。またその後も、定期的に職員が黄門付近に立つことで、児童に注意喚起をしております。万一、自動車が走行する道路の近くで転倒し、道路に飛び出した場合、命にかかわる大きな事故が起きる可能性があります。ご家庭でも安全な登下校の仕方について、ぜひとも話題にしてくださいませよう、よろしくお願いします。（なお、今回けがをしたお子さんには過失がなく、不慮の事故であることを申し添えます。）

（校長 古市和臣）